

避難スイッチ「オン」はいつ？

今年で6回目となる「手賀の杜総合防災訓練」が、昨年10月27日の午前中に、曇天気味の空の下で行われました。

この日は「午前9時過ぎに首都圏で震度6強の地震が発生し、柏市内でも各地で甚大な被害が発生した」との想定で開始されました。午前9時半からの安否確認訓練では、70を超える班の各長が班内の全世帯を周り、「大丈夫・安全」目印のタオルを確認、この目印掲示がない世帯を一軒ずつ訪問して安否を確かめました。その結果は、手賀の杜地区の災害対策本が設置された手賀の杜スクエアに各班長から集められ、確認漏れ世帯がないよう自主防災担当役員が住宅地図上にその結果を転載しながら集計作業を行いました。その丁目別集計結果は以下の通りです。



安否確認戸数	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目	合計
目印アリ	80	145	97	85	65	472
在宅確認	54	59	60	66	28	267
不在・応答ナシ	29	73	56	54	71	283
確認率(%)	82.2	73.6	73.7	73.7	56.7	72.3

(注) 実施の対象は会員世帯のみ。「確認率」は(目印アリ+在宅確認)÷(総会員世帯数)で計算しました。

裏面に続く



中央公園では防災クイズも実施され、多くの訓練参加住民が難問に挑戦しました



お湯とホットケーキミックスでパン作りにも取り組みました。意外と美味！

今回の訓練では住民避難移動を手賀の杜中央公園及び手賀の杜スクエアを避難場所として実施*し、中央公園では防災クイズ(参加者にはキッチン

ラップなどをお渡ししました)と非常食のパンづくりを催し、スクエア内では防災ビデオ上映を行いました。*実際の災害時の指定避難所は沼南高校ほかです

今回の訓練には、ご家族総出を含め合計99世帯・224人が参加

され、これは昨年の参加人数を上回る結果となりました。

大地震だけでなく、毎年日本列島のどこかを大型台風や爆弾低気圧などが襲い、私たちの普段の生活を脅かしています。特に昨年は台風15号・19号が私たちの住む千葉県を襲い甚大な被害を及ぼしましたが、その際どういったタイミングで避難行動に移すべきか(=避難スイッチをオンにするタイミングはいつか)?を、日頃の訓練で考えておくことが命を守る行動として必要です。



スクエアホールでは防災ビデオ上映も開催されました



安否確認の集計の様子。背後の拡大地図で世帯確認状況が表示され、確認漏れの防止に努めました

住民の皆さんの防災意識を一層高め、年一回は手賀の杜の住民が多く避難訓練を体験できるよう、今後も自治会役員が中心となって防災活動を進めてまいります。(以上)